

# みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2023

9月中旬～10月中旬

--- 季節のおすすめ散策コース (ゆっくり歩いて1時間)  
- - - おてがるコース (ゆっくり歩いて30分)



## 草地や野草園で



秋めく田畑とヒガンバナの風景



**ヒガンバナ (ヒガンバナ科)**  
秋の彼岸の頃に咲く、9月の代表的な花。根に毒性があり、ネズミやモグラ除けの目的で田んほの畦に植えられてきたともいわれています。



**ゲンショウコ (フウロソウ科)**  
昔から、整腸薬として重宝されてきた野草。



**カキノキ (カキノキ科)**  
果実は食用や柿渋の材料に、葉はお茶になる、有用な植物です。里山には多く植えられています。



**ワレモコウ (バラ科)**  
暗紅色の小さな花が集まって、一つの穂をかたちづけています。



秋の七草

**オミナエシ (スイカズラ科)**  
秋の七草の一つ。漢字では「女郎花」と書きます。しなやかな立ち姿を女性に例えたのかもかもしれませんね。



秋めく田畑とヒガンバナの風景  
チョウを誘うヒガンバナと豊かな実りの稲穂が広がります。



**ツリガネニンジン (キキョウ科)**  
小さな釣り鐘型の花をつける。根の形が朝鮮人参に似ていることから、ニンジンという名がつけられたらしい。



秋の七草

**ススキ (イネ科)**  
秋の草地を代表する植物。秋の七草の尾花です。藍那では、茅葺屋根の材料として利用されてきました。(9月～)



**クリ (実) (ブナ科)**  
秋の代表的な果樹の一つ。人間だけでなく動物たちにとっても、この時期の貴重な栄養源です。



**トノサマガエル (アカガエル科)**  
緑に黒い斑点模様が特徴的なカエル。田んほに水が張られる頃、繁殖期を迎えます。



**ネキトンボ (トンボ科)**  
平地の池や水田などで暮らす、全身真っ赤なトンボ。



**タコノアシ (タコノアシ科)**  
タコの足を引っくり返したような形からこの名前がつけました。秋の紅葉シーズンには赤く色つき、まるでゆでタコのように。



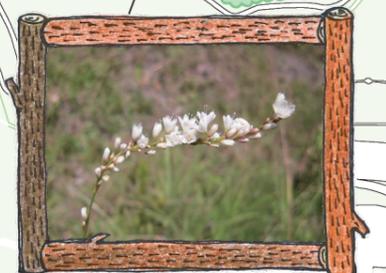
**コバネイナゴ (バッタ科)**  
日本全土にふつうに見られるイナゴの仲間。稲を食べることから、害虫として嫌われます。佃煮にして食べることが出来ます。



**ヒヨドリバナ (キク科)**  
ヒヨドリが鳴く頃に開花することからこの名がつけられたらしい。



**サワヒヨドリ (キク科)**  
秋の七草の一つの「フジバカマ」によく似ています。淡い桃色がうつくしい花です。



**シロバナサクラタデ (タデ科)**  
タデの仲間の中でも、桜の花のような小さな花を咲かせる美しいタデ。



**アサギマダラ (タテハチョウ科)**  
秋に南へ向かって旅をするチョウ。旅の途中、フジバカマやヒヨドリバナへよく吸蜜にきます。

